

令和3年度 江戸川区立清新第一中学校 学校関係者評価 最終評価用報告書

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら学び進んで働く生徒 ・心身ともに健康な生徒 ・自他を尊重して協調性を発揮する生徒 ・社会に対する責任を自覚して実践する生徒 	目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	<ul style="list-style-type: none"> ・「知・徳・体」のバランスのとれた生徒が育つ学校 ・自ら意欲的に学び、個性を伸ばす生徒 ・自身の専門性を高め続ける姿勢をもつ教師
前年度までの学校経営上の成果と課題	<成果> ①全教員が年1回以上、ICT活用による授業実践を行えた。 ②ローテーション授業による道徳授業の充実。 <課題> ①タブレットを活用した授業のスキルアップ ②不登校対策 ③感染症対策を踏まえた教育活動の充実 ④働き方改革		

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価			学校関係者評価		来年度に向けた改善策
					取組	成果	成果と課題	評価	コメント	
いきいきと学ぶ学校づくり	確かな学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・「確かな学力向上推進プラン」の実施・改善や補習の実施などによる指導の充実と授業力の向上 ・「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間35回以上の補習の実施 ・定期的な教科部会と連携部会の実施 	保護者アンケートの肯定的な評価が85%	A	A	数学を中心に放課後補習の回数が昨年よりも増え、充実している。	A	より一層、補習にも力を入れていただき、学力の二極化を改善してください。	業者による補習体制の構築
	読書科の更なる充実	<ul style="list-style-type: none"> ・読書を通じた探究的な学習の充実（読書科ノートの活用、資料の収集の仕方や記録の取り方の指導、自己の考えをまとめ表現する方法の指導、朝読書と1単位時間の授業との関連付け、他教科との関連等） ・学校図書館の整備、学校図書館を使った授業の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸川区教育課題実践推進校として探究的な学習の授業研究に取り組む。2月7日には、研究成果の発表会を行う。 	生徒アンケートの肯定的な評価が90%	A	A	2年生は、「国際理解」をテーマにディベート授業を行い、1年生は「環境問題」をテーマに探究学習を行った。	A	素晴らしい内容の発表会でした。引き続き、探究学習を充実させてください。	3年間のつながりのある指導計画の見直し
	体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・体育の授業での補強運動や休み時間における主体的な運動の実施による運動意欲の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会やロードレース大会の取り組みを通して意欲の向上を図る。 	生徒アンケートの肯定的な評価が80%	A	A	ロードレース大会を実施し、体力向上に繋がった。	A	感染対策により工夫した運動会ができていた。	計画の見直し
	オリパラ教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「オリンピック・パラリンピックレガシー創造プラン」に基づく取組、「学校2020レガシー」の設定やオリパラコーナーの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・アスリートによる講演 ・国際理解教育の充実 	生徒アンケートの肯定的な評価が80%	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・11月22日、パラリンピックアスリートを招聘し、講演会を行う。 ・「留学生が先生」プログラムを実施 	A	東京2020直後の講演会でもあり、たいへん有意義であった。デモンストレーションでも生徒が楽しそうであった。	レガシーの構築
	外国語教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・授業力の向上とALTの効果的な活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・TGGを活用した英語力の向上を図る 	生徒アンケートの肯定的な評価が80%	A	A	9月10日、2学年がTGGに行き、英語だけの実践体験を行った。	A	新たな取り組みで十分な成果を期待したい。	2年の英語科行事として位置付ける
特別支援教育の充実	健全育成に向けた取組の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ・不登校の未然防止に向けた魅力ある学校づくりの取組の充実 ・チルドレン・サポートチームや生活指導連絡協議会の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談体制の充実 ・居場所づくりの拡充 ・「SNS家庭ルール」「えどたぶルール」の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒アンケートでいじめ0を目指す ・不登校生徒を20%減らす 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・校内委員会を中心にして居場所づくりの拡充を進めている。 ・「えどたぶルール」を活用した情報モラル指導を継続中 	B	2学期以降の不登校の増加が気になります。	いじめ防止委員会での取り組み計画の見直し
	特別支援教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・校内委員会の活性化を図ることなどによる指導・支援の充実 ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の充実 ・エンカレッジルームの活用促進 ・副籍交流、交流及び共同学習の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回の校内委員会での情報共有と手立ての確認 ・エンカレッジルーム活用に向けた校内規定の整備 	保護者アンケートの肯定的な評価が70%	A	B	特別支援として配慮を要する生徒と不登校生徒の指導方針の違いを整理することが課題	B	特別支援教育の対応は個人差もあり難しいと感じた。	より良い教育課程の編成
教員の資質向上	インクルーシブ教育の推進	特別支援教育の理解啓発と授業における工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・交流給食の充実 ・講演会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流給食 年間3回 ・校内研修会 年間2回 	A	A	円滑に進められている	A	今後も継続的に取り組んでください。	異動者に対する研修
	教員研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・学習用タブレットを活用した授業実施に向けた研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・全教員が年1回以上ICTを活用した授業の実施 	保護者アンケートの肯定的な評価が80%	A	A	ICT授業や道徳授業のローテーション授業を通して研修が深まっている。	A	さらに心の教育を深めてください。	全校体制での実施計画の見直し
特色ある教育の展開	タブレット活用のスキルアップ	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒や保護者との連絡ツールとして積極的な活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の健康観察 ・学習アンケート・学校評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートの肯定的な評価が80% 	A	B	通信環境整備の充実	B	タブレットを活用している様子がありました。	セキュリティ研修の充実
	連絡ノートの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の生活を見守り、相談を受ける態勢を整える 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、担任が連絡ノートの回収、コメント記入 	全クラスで実施(100%)	A	A	全クラスで実施できている	A	毎日の生徒とのやり取りは、たいへんだと思いますが、健全育成には欠かせない取り組みなのでよろしく願います。	負担軽減の見直し
地域美化活動への参加	ボランティア活動の組織的推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動の組織的推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・町会祭りのボランティア活動 ・高齢者施設でのボランティア活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒アンケートの肯定的な評価が70% 	C		感染症が落ち着き次第実施予定			
	地域美化活動への参加	<ul style="list-style-type: none"> ・地域美化活動への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎周りや土手のゴミ拾い等 	100名以上の参加	C		感染症が落ち着き次第実施予定			